

代々木図書館新聞

よよぎとしょかんしんぶん

渋谷区立代々木図書館 03-3370-7566

〒151-0053 渋谷区代々木 3-51-8 代々木区民施設 4F

Vol. **29**
2014年7月15日

代々木図書館 2014年7・8・9月の予定

7月

- 7月17日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月19日(土)
体験! 1日図書館員
- 7月24日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 7月26日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 7月31日(木) 15時～15時30分
おはなし会

8月

- 8月7日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 8月16日(土) 15時～15時30分
なつやすみこうさく会
- 8月21日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 8月23日(土) 9時～
雑誌リサイクル
- 8月28日(木) 15時～15時30分
おはなし会

9月

- 9月4日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 9月18日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 9月20日(土) 15時～15時30分
おはなしとこうさく会
- 9月25日(木) 15時～15時30分
おはなし会
- 9月27日(土) 9時～
雑誌リサイクル

左から『春の小川』はなぜ消えたか 田原光泰著 之潮 / 『あ
るく渋谷川入門』梶山公子著
中央公論事業出版 / 『渋谷の水
車業史』渋谷区白根記念郷土文
化館編 渋谷区教育委員会



文化学園大学敷地内には、玉川上水の暗渠モニュメントが建っています。明治時代の暗渠の煉瓦を一部使い、ほぼ原寸大で再現されています。

代々木の水車

代々木に川が流れていたころ

●渋谷の水車

幕末から明治にかけて、渋谷区には40ヶ所以上の水車がありました。中でも、江戸名所図会の広尾、また、北斎が描いた隠田の水車があり有名です。

●千駄ヶ谷・代々木には

渋谷川水源の一つ、新宿御苑近くの池尻の水車。現在の区画では、新宿区に含まれます。この辺りで、新撰組の沖田総司が最後の日々を過ごしたとも言われています。

そして、南新宿駅を流れていた代々木の川。これは、玉川上水から現在の文化学園大学近くの二ヶ所で分水していました。昭和初期2mほどの滝があったそうですから、水量もそれなりにあったようです。ここに、計七つの水車が回っていました。

●人力から水力へ

水車は当初、村内の米麦精白のために使われていました。

けれども、人力よりはるかに効

率が良いので、次第に他の地域で生産した米の精白も請け負うようになります。

江戸と近郷農村との中継地点だった渋谷は、地理的に有利でした。明治21年度には、区内生産量の約20倍の精白を行っています。

●水力から電力へ

その後、電力による精米業者が現れると、手間と労力のかかる水車業は成り立たなくなってきました。代々木の水車は、撚糸や生糸製造・電線用糸製造に用途を転換したりしました。

しかし、渋谷周辺では明治42年に各戸に電燈がつき、水車業は明治30～40年代をピークに衰退し、大正に入るとほとんど姿を消してしまっただけでした。

2014年7月・8月・9月の休館日

7月 15(火)・20(日)・22(火)・29(火) **8月** 5(火)・12(火)・14(木)・17(日)・19(火)・26(火)
9月 2(火)・9(火)・11(木)・16(火)・21(日)・23(火)・30(火)

この新聞は代々木図書館で働いているスタッフが作っています。

中学生職場体験



本を探すのも案外難しい



私から皆さんへのおすすめの本はこれ!

6月16日(月)から20日(金)まで、渋谷本町学園中学校の生徒さん2名が職場体験に来ました。仕事内容は、カウンター業務など利用者の方の目に触れる業務から、本の装備といった裏側の業務まで多岐に渡ります。区内では二番目に蔵書数の少ない小さな図書館ですが、二人にとっては扱う資料も膨大なようで、「こんなにあるの!？」と、とても驚いていました。最初は四苦八苦しながらの作業も日に日に素早くなり、「次は何をしたらいいですか?」と聞きに来てく

れるように。最終日には、どちらからも「楽しかった」という言葉を聞くことができました。スタッフもその言葉が励みになります! 四日間お疲れさまでした。

しづや

おすすめの本50

2014年度の「しづや おすすめの本50」は、伝えよう本の楽しさ—やさしくされるとうれしいね—をテーマに、友情・家族愛・命の大切さについての本を紹介しています。今年新たに加わった『盆まねぎ』(富安陽子作)は夏におすすめの本。忘れかけていたなつかしいお盆の思い出がよみがえります。巻末に書かれている富安陽子さんの家族のお話は『永遠の0』の主人公の姿にも重なって、涙なくしては読めない物語です。平和や命の大切さを教えてくれる名作たち。きつと心に残る本に出会えます



『盆まねぎ』富安陽子作 偕成社

渋谷の文学⑦ 山本幸久

—主人公とめぐる渋谷街ガイド—

いまは解体されつつある東急東横店東館ですが、屋上に稲荷神社があったことはご存知でしたか。そんな渋谷のさまざまな風物をたっぷり味わうことができる一冊です。

主人公の峰崎稔は、渋谷に生まれて小学校までを過しましたが、卒業と同時に父の実家の方へ引越しました。現在は食品会社に勤めています。現在は突然、営業の担当エリアが渋谷になって戸惑います。実は、ある事情から、引越し後は一度も渋谷に足を踏み入れていなかったのです。20年ぶりに訪れた渋谷はどうだったのでしょうか。上司や取引先、再会した小学校時代の友達とのやり取りの中から、稔の人物像がゆっくりと浮かび上がってきます。

担当エリアは渋谷駅周辺だけではありません。代々木から参宮橋へ、そこから小田急線に乗って代々木八幡へ、と移動する日もあります。代々木図書館の前も通ったかもしれませんね。



『渋谷に里帰り』山本幸久著 新潮社

最近これ読みました⑨

『職業は武装解除』 瀬谷ルミ子著 朝日新聞出版

武装解除とは、紛争後の地で兵士から武器を回収し、一般市民として生活の基盤を築けるよう、職業訓練などの社会復帰支援を行う仕事のことです。危険を伴う紛争の地で、武装解除を行う難しさとその軌跡が綴られています。苦手なことを無理に克服しようとせず、得意なことを伸ばすよう、とりあえず行動を起こしてみる。行動しなければ何も変わらないこと。これらは日々の私達の生活にも学ぶべき点が多いように思います。代替案のない批判はただの愚痴という言葉が印象的でした。

著者は2011年Newsweek日本版「世界が尊敬する日本人25人」に選出されました。



●お知らせ 料理本の配置が 新しくなりました

料理の本が探しやすくなりました。お菓子・パン、お弁当、食べ歩きなど、目的に沿ってシールで色分けしています。どうぞご利用下さい!



編集後記

代々木に川が流れていた明治の頃。2本の川に挟まれた土地には水田があり、茶や桑も栽培されていて「代々木は茶どころ」と言われていたそうです。水車を回す水は澄んでいて、川の水で風呂も沸かしたとか。蛍が舞う、のどかな光景が目に見えます。

ご紹介した本は、すべて渋谷区立図書館で借りられます。